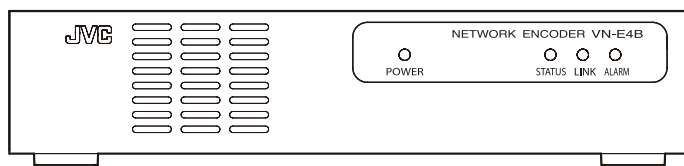




ネットワークエンコーダー

型名 **VN-E4B**

取扱説明書
(設置 / IP 設定編)



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
同梱されている CD-ROM には、「取扱説明書」(pdf)、「API ガイド」(pdf)、「JVC-VN 検索ツール」、「JVC-VN-IP 設定ツール」、「README」(txt)、「ソフトウェア使用許諾契約書」(txt)、「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」(txt)が含まれています。
本書には「Internet Explorer を使った設定」や「統合ビューワの操作」などが記載されておられません。設定や操作について詳しくは、CD-ROM の「取扱説明書」をお読みください。

特長

4 チャンネルの映像をネットワークへ配信

VN-E4B は入力される 4 チャンネルの映像信号を、JPEG あるいは H.264 (High Profile、Baseline Profile) に圧縮します。各チャンネルを最大 30 fps で配信できます。4 チャンネルの合計では最大 120 fps になります。フレームサイズは VGA と QVGA から選択できます。ひとつの入力ビデオを 2 種類のフレームサイズで同時に配信することや、JPEG と H.264 の 2 種類の圧縮形式で配信することもできます。クライアントはこれらの映像をネットワークから TCP プロトコルで取得できます。なお映像および音声は最大で 20 本まで TCP 送信可能です。例えば統合ビューワーで 4 本の映像と 1 本の音声を TCP で取得する場合、1 台の VN-E4B に接続できる統合ビューワーは最大で 4 個となります。VN-E4B は映像をマルチキャストで送信することも可能です。最大で 10 本のマルチキャスト送信が可能です。

JPEG とは？

静止画像圧縮方式の一つで、写真などのように静止画として画像を圧縮するのに効果的です。

H.264 とは？

動画圧縮方式の一つで、JPEG に比べ圧縮効率が高く、少ないデータ量で高画質を実現します。

音声をネットワークへ配信

VN-E4B は入力される 1 チャンネルの音声を μ -Law 形式に圧縮します。クライアントは音声を TCP プロトコルで取得できます。VN-E4B は音声をマルチキャストで送信することも可能です。

μ -Law とは？

μ -Law は音声圧縮方式の一つで、一般電話回線同等の音声品質を持ち、IP 電話でも使用されています。

エコーキャンセラー / ノイズキャンセラーを内蔵

音声を双方向で使用する場合にハウリングを抑えるエコーキャンセラーと、周りの騒音を抑えるノイズキャンセラー機能を内蔵しており、重要な音声をより聞き取りやすくします。

音声をネットワークから受信して出力

VN-E4B はネットワークから μ -Law 形式の音声を受信し、オーディオ信号として出力できます。

統合ビューワー

VN-E4B は ActiveX のビューワーを内蔵しています。この統合ビューワーをパソコンにインストールすることにより、パソコンで VN-E4B の映像および音声を監視できます。

動き検出、異音検出、アラーム入力

VN-E4B は、4 チャンネルの映像入力ごとに映像の変化を検出する動き検出機能を備えています。音声入力に対しては、一定レベル以上の音量を検出する異音検出機能、さらに、4 系統のアラーム入力端子も備えています。動き検出時、異音検出時、あるいはアラーム端子入力時に、クライアントへの通知、アラーム出力、メール送信、JPEG のファイル転送といったアクションを起こすことができます。アラーム入力については、2 つの条件を組み合わせることでアクションを起こすことも可能です。

シリアルポートに接続されている外部機器を制御 (シリアルバススルー機能)

2 系統の RS-232C と RS-485 に切り換え可能なシリアルポートを持っています。シリアルポートに接続された外部機器を制御することができます。また、当社製カメラ・スイッチャー・レコーダー機器を接続した場合には統合ビューワーから制御することができます。

クライアントの制限

VN-E4B は、指定した IP アドレスからのアクセスだけを許可する、あるいは指定した IP アドレスからのアクセスを拒否することができます。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	3
正しくお使いいただくためのご注意	4
各部の名前とはたらき	6
フロントパネル	6
リアパネル	7
底面部	7

準備

システム接続例	8
統合ビューワーを使った遠隔モニタリング	8

設置

接続・設置	9
ネットワーク	9
[COM1/COM2] シリアルポート端子	9
アラーム入力	9
アラーム出力	9
AV 機器	10
ラックマウント金具の取り付け	10
パソコンとの接続	11
アラーム入出力端子の詳細	11

ネットワーク設定

IP アドレスの設定	12
IP アドレスの設定手順	12
設定用パソコンの IP アドレス設定	12
Internet Explorer の設定	12
VN-E4B とパソコンの接続	14
VN-E4B の IP アドレスを設定	15

その他

こんなときは	16
保証とアフターサービス	18
仕様	18

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 次のような場所に置かない
誤作動の原因になります。
 - 許容動作温度 (-10℃～+50℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度 (30%RH～80%RH) 範囲外の湿気の多いところや少ないところ
 - 変圧器やモータなど強い磁気を発生する機器の近く
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 放射線や X 線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
 - 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる場所
 - 振動の激しいところや不安定なところ
- 直射日光のあたる車の中や暖房機の近くに長時間放置しないでください。

取り扱いについて

- 機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- 通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本機の横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。
- 本機の上に物をおかない
テレビモニターのような重いものや、本機からはみ出るような大きなものを置くとバランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機の上部に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

- 内部に物を入れない

通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

移動について

- 移動するときは接続コード類をはずす
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機清掃時は外装キャビネット部はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきをしてください。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源コードについて

- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしたりしない
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

エコーキャンセラーについて

- 本機のエコーキャンセラー機能は、ハウリング防止が目的で、VN-E4B 以外での音の繰り返しによるエコー現象については、十分に取り除くことはできません。
- スピーカーとマイクを同時に使用する場合、スピーカーとマイクを離したり、マイクの向きを調整したりして、スピーカーの再生音がマイクに入らないように使用してください。また、本機の音声入力にカムコーダーなどを接続する場合、エコーキャンセラーが正常に機能しないことがありますのでカムコーダーなどの AGC (オート・ゲイン・コントロール) 機能は OFF にしてください。
- AGC 機能を OFF に設定できない場合は、別途 AGC 機能のないマイクアンプをご利用ください。

その他

- SNMP 機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト映像が正常に閲覧できない場合があります。
- 同一ネットワーク上に、マルチキャスト送信する機器があったり、ブロードキャストが大量に送出されるネットワークで使用すると、映像送信に影響をうけます。この場合、必ず、マルチキャスト抑制機能のついたスイッチングハブや VLAN を用いて、VN-E4B と他のマルチキャストやブロードキャストを分離するシステム設計をしてください。

- 節電のため長時間使用しないときは電源を切ってください。

運用に際して生ずる結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

免責

万一、本機およびコンピュータソフトウェアなどの不具合により正常に記録・再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

GPL について

本製品に搭載されているソフトウェアの一部は、GNU 一般公衆利用許諾 (GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ) に該当するフリーソフトウェアです。GPL に該当するフリーソフトウェアについては、本製品に内蔵されている Web ページおよび付属 CD-ROM 内の [INSTRUCTIONS] フォルダにある「ソフトウェア使用許諾契約書 .txt」「ソフトウェアに関する重要なお知らせ .txt」をご覧ください。

著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材映像・音声の著作権者であるか、または素材映像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材映像、音声として、複製、改変、送信などをするには原則として著作権者の許諾が必要です。許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信等したときには、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材映像・音声として使用する際には、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分確認してください。また、複写体の権利 (者) が存在する場合は、撮影の許諾、利用 (加工) の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係る許諾条件を十分確認してください。
- 本機は、フリーソフトウェアの一部を使用しています。フリーソフトウェアに関する著作権につきましては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で『その他ページ』に表示される「Free Open Source Software」の内容を十分に確認してください。

ユーザー名とパスワードについて

工場出荷時のユーザー名とパスワードは、広く公開されているため変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。また、ユーザー名とパスワードは、定期的に変更してください。

この取扱説明書の見かた

- 本書は、本機の設置方法および IP アドレスの設定について説明しています。

- 付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」には、本書に記載されている本機の説明や設置方法に加えて、「Internet Explorer を使った設定」および「統合ビューワの操作について」も説明しています。統合ビューワの操作につきましては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」をお読みください。
- 付属の CD-ROM には、「取扱説明書」(pdf)、「API ガイド」(pdf)、「JVC-VN 検索ツール」、「JVC-VN-IP 設定ツール」、「README」(txt)、「ソフトウェア使用許諾契約書」(txt)、「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」(txt) が含まれています。

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

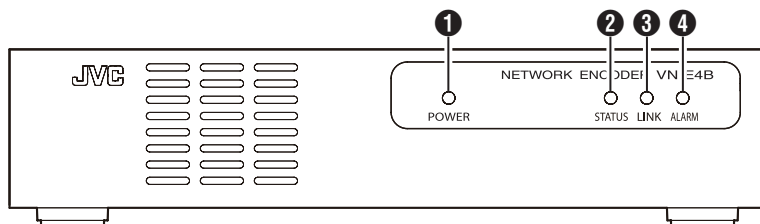
☞ : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

各部の名前とはたらき

フロントパネル



① [POWER] ランプ

電源オフ時は消灯、電源オン時は点灯（緑色）します。

② [STATUS] ランプ

VN-E4B が起動中は遅い点滅（緑色）、正常に起動すると点灯（緑色）します。
ビデオロスなどのエラー検出時は速い点滅（緑色）になります。

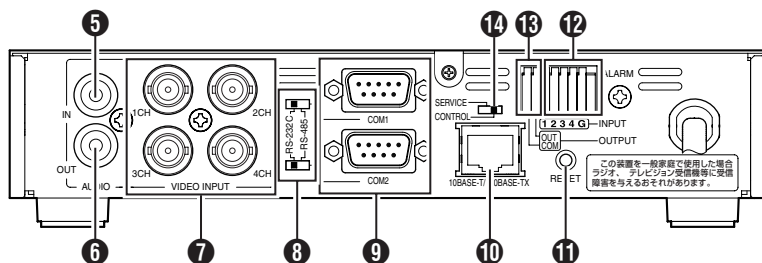
③ [LINK] ランプ

VN-E4B がネットワークと接続されている場合に点灯（緑色）、リンクダウン発生時は消灯します。

④ [ALARM] ランプ

VN-E4B へのアラーム入力を示します。アラーム入力端子の状態が変化した場合や動き検出、異音検出時に点灯（赤色）します。5 秒後に自動で消灯します。

リアパネル



⑤ [AUDIO IN] 端子 (RCA ピン)

オーディオ信号を入力します。

⑥ [AUDIO OUT] 端子 (RCA ピン)

オーディオ信号を出力します。

⑦ [VIDEO INPUT 1CH -4CH] 端子 (BNC)

ビデオ信号を入力します。

⑧ [RS-232C/RS-485] COM1、COM2 通信方式切換スイッチ

- [COM1] 端子、[COM2] 端子の各端子を“RS-232C”または“RS-485”に切り換えます。工場出荷時には“RS-232C”が選択されています。
- 接続機器による切換スイッチの設定は、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で『外部機器との接続』をご覧ください。

⑨ [COM1/COM2] 端子 (D-sub 9 ピン)

外部機器を制御するシリアルポートです。

⑩ [10 BASE-T/100 BASE-TX] LAN 端子

ネットワークケーブルを接続します。

⑪ [RESET] ボタン

VN-E4B をリセットするボタンです。押し続けて 5 秒以内に離せば電源がリセットされます。

ご注意：

- [RESET] ボタンを 5 秒以上押し続けると電源がリセットされ、すべての設定が工場出荷設定に戻ります。IP アドレスは 192.168.0.2 になります。ログインのユーザー名は“admin”、パスワードは“jvc”に戻ります。

⑫ [ALARM INPUT] 端子

無電圧メイク接点またはブレイク接点を入力する端子です。

4 個の入力端子およびグランド端子で構成されています。

⑬ [ALARM OUTPUT] 端子

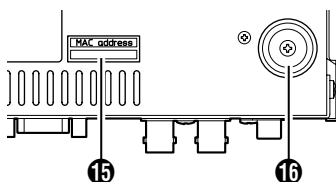
[COM] 端子と [OUT] 端子でメイク接点を構成します。

VN-E4B の電源を切ると、アラーム出力はブレイクになります。VN-E4B を起動すると、アラーム出力は電源を切る前の状態に戻ります。

⑭ [CONTROL/SERVICE] 切換スイッチ

[COM1] 端子をサービス用に切り換えるスイッチです。メンテナンスする場合に使用します。工場出荷時には [CONTROL] が選択されています。通常は [CONTROL] を選択した状態で使用してください。

底面部



⑮ ラベル

VN-E4B の MAC アドレスが 16 進数で表記されています。

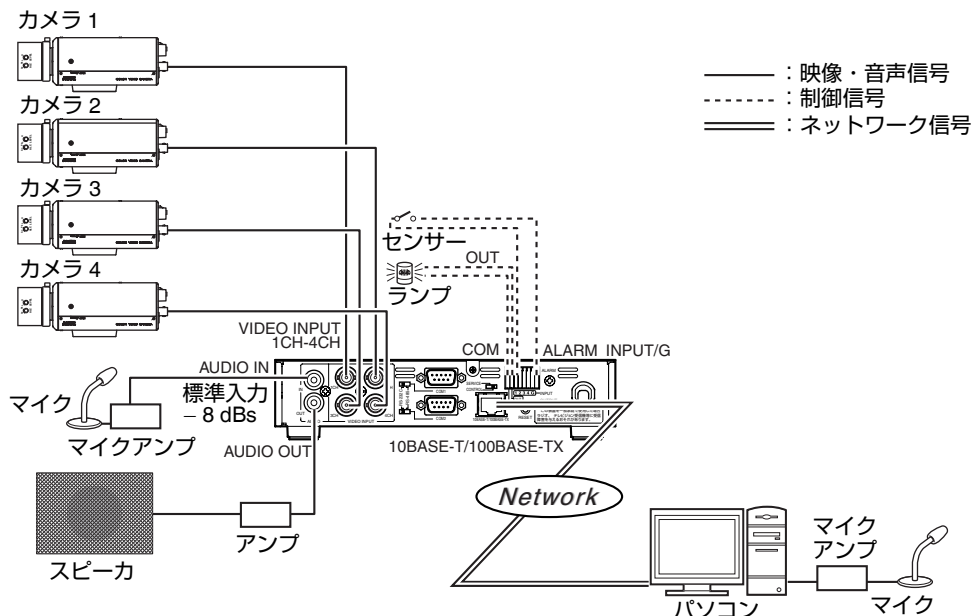
⑯ フット

EIA ラックに組み込む場合に取付はしません。
(※10 ページ『ラックマウント金具の取り付け』)

システム接続例

統合ビューワーを使った遠隔モニタリング

VN-E4B の統合ビューワーを使い、パソコンで遠隔モニタリングすることができます。
接続機器の「取扱説明書」も、必ず確認してください。

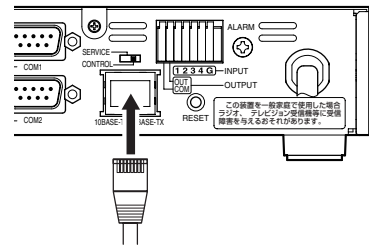


- 4チャンネルの映像を監視するとともに、双方向の音声で会話することもできます。
- アラーム入力や動き検出が起きた場合、統合ビューワーに表示されます。[ALARM OUTPUT] 端子に警告灯を接続しておき、アラーム入力したときに点灯させることもできます。
- 現在表示している映像をパソコンのハードディスクにJPEGファイルとして保存することができます。

接続・設置

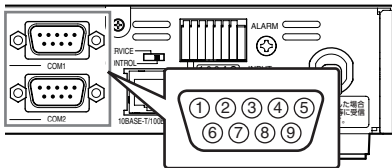
ネットワーク

VN-E4B とスイッチングハブをカテゴリ 5 以上のストレート LAN ケーブルで接続します。



[COM1/COM2] シリアルポート端子

シリアルポートには制御したいカメラなどの機器を接続します。切換スイッチによって RS-232C と RS-485 を切り換えることができます。



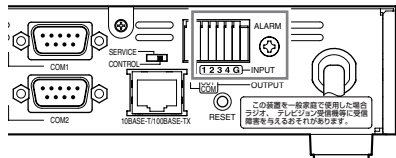
■ ピン配置

ピン番号	RS-232C 選択時	
	名称	説明
1	(NC)	(未使用)
2	RXD	データ受信
3	TXD	データ送信
4	(NC)	(未使用)
5	GND	接地
6	(NC)	(未使用)
7	(NC)	(未使用)
8	(NC)	(未使用)
9	(NC)	(未使用)

ピン番号	RS-485 選択時	
	名称	説明
1	RX+	受信+側
2	RX-	受信-側
3	TX-	送信-側
4	TX+	送信+側
5	GND	接地
6	(NC)	(未使用)
7	(NC)	(未使用)
8	(NC)	(未使用)
9	(NC)	(未使用)

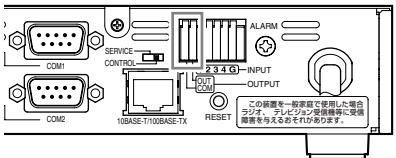
アラーム入力

センサーを接続します。4 個の入力端子および GND 端子から構成されています。設定によりメイクまたはブレイクを選択できますので、無電圧 A 接点出力（ノーマリ・オープン）、無電圧 B 接点出力（ノーマリ・クローズ）、無電圧 C 接点出力、のいずれのタイプのセンサーでも利用できます。



アラーム出力

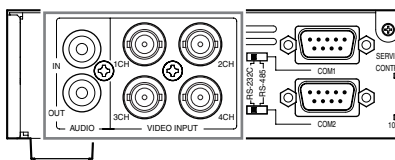
[OUT] 端子と [COM] 端子でメイク接点を構成します。アラーム出力を利用し、動作させたい機器を接続してください。なお VN-E4B の電源を切ると、アラーム出力はブレイクになります。VN-E4B を起動すると、アラーム出力は前の状態に戻ります。
(※18 ページ『仕様』)



接続・設置 (つづき)

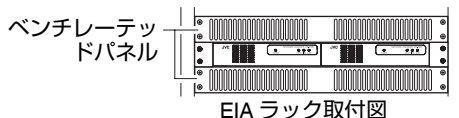
AV 機器

- VN-E4B のリアパネルにある [VIDEO INPUT 1CH-4CH] 端子に4台のカメラを接続します。各カメラの出力信号が同期している必要はありません。
- VN-E4B のリアパネルにある [AUDIO IN] 端子に、マイクアンプを介してマイクを接続します。
- VN-E4B のリアパネルにある [AUDIO OUT] 端子に、アンプを介してスピーカーを接続します。



ラックマウント金具の取り付け

- 別売りのラックマウント金具を使用して、本機を EIA ラックに組み込むことができます。
- 取り付けは必ず、お買い上げ販売店にご依頼ください。
- ラックマウント金具については、お買い上げ販売店にご相談ください。



ご注意：

- 本機にラックマウント金具を取り付ける場合、必ずラックマウント金具に添付のねじを使用してください。添付のねじ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

メモ：

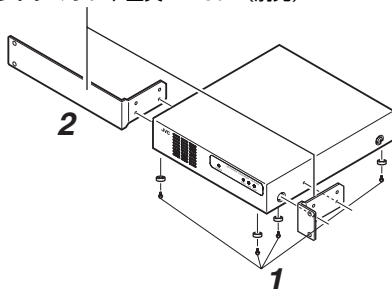
- ラックに組み込む場合は、本機の温度を上昇させないよう、ベンチレーテッドパネルを必ず取り付けてください。
- ラックマウント金具を取り付ける前に、本機底面のフット（4箇所）を必ず取りはずしてください。

■ 1 台組み込む場合

ラックマウント金具（別売：PA-U01）を取り付けます。

- 1 本機底面のフット（4箇所）をははず
- 2 ラックマウント金具（別売：PA-U01）を取り付ける

ラックマウント金具 :PA-U01（別売）

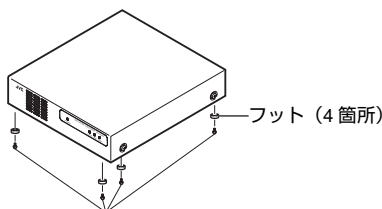
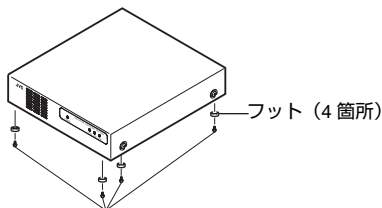


※ 取付方法の詳細につきましては、PA-U01 の「取扱説明書」をご覧ください。

■ 2 台組み込む場合

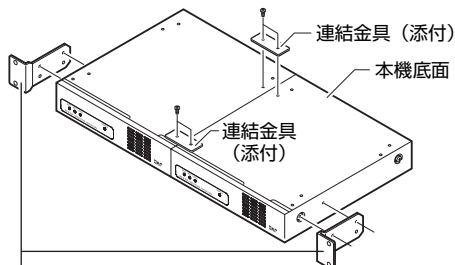
ラックマウント金具（別売：PA-U11）を取り付けます。

- 1 本機底面のフット（1 台につき 4 箇所づつ：計 8 箇所）をははず



2 ラックマウント金具（別売：PA-U11）を取り付ける

本機に添付の連結金具（2 個）とねじ（4 本）を使って、本機 2 台を連結し、ラックマウント金具（別売：PA-U11）を取り付けます。



ラックマウント金具：PA-U11（別売）

※ 取付方法の詳細につきましては、PA-U11 の「取扱説明書」をご覧ください。

パソコンとの接続

パソコンとスイッチングハブをストレート LAN ケーブルで接続します。

VN-E4B 統合ビューワーを動作させる場合、次のパソコンを用意してください。

■ 視聴用パソコンの推奨仕様

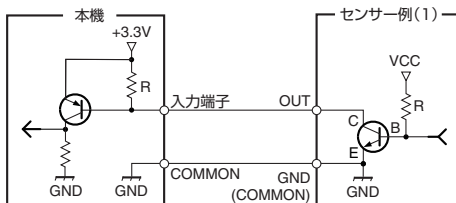
OS	Windows 8 Professional(64bit) Windows 7 Professional(SP1)(32bit/64bit) Windows Vista Business(SP2)(32bit)
CPU	Intel Core 2 Duo 3 GHz 以上
メモリー	2G 以上
ハードディスク	512MB 以上の空き容量
ディスプレイ	1920x1080 ピクセル以上、True Color (24bit or 32bit)
Web ブラウザ	Internet Explorer V10.0 (32bit) Windows 8 V9.0 (32bit) Windows 7 V8.0 Windows Vista

アラーム入出力端子の詳細

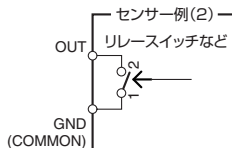
■ アラーム入力の参考回路

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。



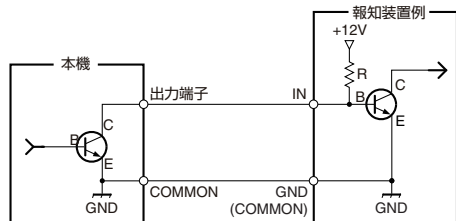
アラーム入力等価回路



■ オープンコレクター出力の参考回路

報知器、表示器、ブザーなどの報知装置と接続します。

- [ALARM OUTPUT] 端子の出力信号はオープンコレクター出力です。
- この端子には、極性があります。必ず COMMON より [ALARM OUTPUT] の各端子の電圧が高くなるように接続してください。逆電圧を加えると破損します。



オープンコレクター出力等価回路

ご注意：

- 本機 COMMON 端子と報知装置の GND をケーブル接続してください。

IP アドレスの設定

※ 本項目は、Windows 7/Internet Explorer 9.0 を基本に記述してあります。

IP アドレスの設定手順

VN-E4B の IP アドレスを下記手順で設定してください。

1 『設定用パソコンの IP アドレス設定』 (12 ページ)

設定用パソコンの IP アドレスを設定します。



2 『Internet Explorer の設定』(12 ページ)

設定用パソコンと VN-E4B を接続するために、Internet Explorer の設定を行います。



3 『VN-E4B とパソコンの接続』(14 ページ)

設定用パソコンと VN-E4B を接続します。



4 『VN-E4B の IP アドレスを設定』(15 ページ)

[基本設定] 画面の [IP 設定] 項目を、“固定 IP” または “DHCP” に設定します。

ご注意：

- 設定変更の直後にリセットあるいは電源を切らないでください。変更した設定内容が保存されず、工場出荷時の設定に戻る場合があります。

設定用パソコンの IP アドレス設定

工場出荷時の VN-E4B は “固定 IP” (DHCP クライアント機能がオフ) になっており、VN-E4B の起動後、下記の IP アドレスで起動します。設定用パソコンの IP アドレスを下記と通信できるように設定してください。

IP アドレス : 192.168.0.2
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

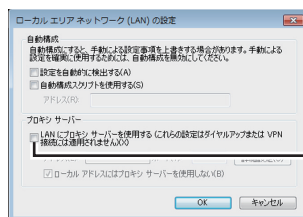
メモ：

- VN-E4B へ固定の IP アドレスを設定するために、VN-E4B、スイッチングハブ、および設定用パソコンをカテゴリ 5 以上のストレート LAN ケーブルで接続してください。

Internet Explorer の設定

- 1 パソコンで Internet Explorer を起動する
- 2 Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

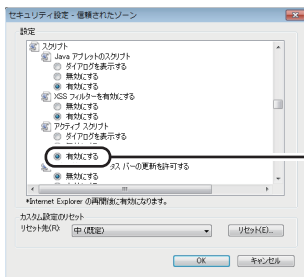
- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定] の順に選択します。
- ② [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ウィンドウの [プロキシサーバー] 内の [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークをはずします。



チェックマークをはずす

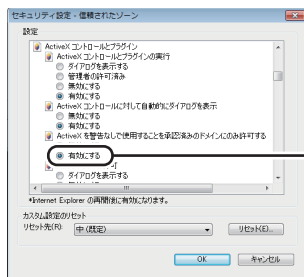
- 3 Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] で、[信頼済みサイト] を選択します。
- ② [信頼済みサイト [サイト ...] ボタンをクリックし、[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックマークをはずします。
- ③ VN-E4B の URL をゾーンに追加します。VN-E4B が工場出荷時の設定のときは、次の URL をゾーンに追加します。
http://192.168.0.2
- ④ [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] で [信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックします。
- ⑤ [セキュリティの設定] ウィンドウから [スクリプト]-[アクティブスクリプト] の [有効にする] を選択します。



4 Internet Explorer で ActiveX コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]をクリックします。
- ② [レベルのカスタマイズ]ボタンを選択し、[セキュリティの設定]ウィンドウを開きます。
- ③ [Active X コントロールとプラグイン]の全項目を[有効にする]にします。
また、[その他]にある[サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開く]ことを許可するの[有効にする]を選択します。



5 ポップアップブロックを無効にする

Internet Explorer でポップアップブロックが“有効”になっていると、VN-E4B を接続することができません。その場合には下記手順で、ポップアップブロックを“無効”にしてください。

- ① [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを無効にする]を選択すれば、すべての Web サイトが許可されます。
- ② 本機などの特定の Web サイトだけ許可したい場合には [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを有効にする]を選択します。

- ③ [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックの設定]を選択し、[ポップアップブロックの設定]ウィンドウを開きます。

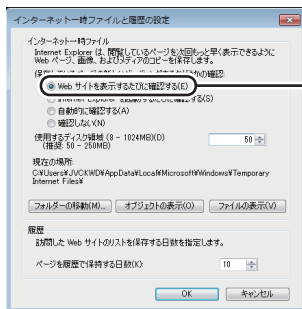
- ④ 開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとして VN-E4B のアドレスを追加します。

- 6 プラグインツールを Internet Explorer に入れている場合、プラグインツールのポップアップブロック機能も無効にする

- 7 [Web サイトを表示するたびに確認する]を有効にする

Internet Explorer で保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認が“Web サイトを表示するたびに確認する”になっていない場合には、下記手順で有効にしてください。

- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[全般]-[閲覧の履歴]-[設定]-[Web サイトを表示するたびに確認する]を選択します。



[Web サイトを表示するたびに確認する]を選択

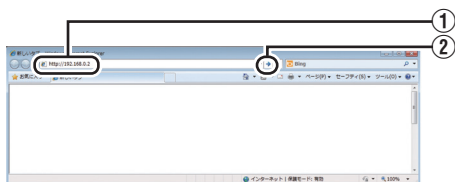
ネットワーク設定 (つづき)

IP アドレスの設定 (つづき)

VN-E4B とパソコンの接続

1 Internet Explorer を起動する

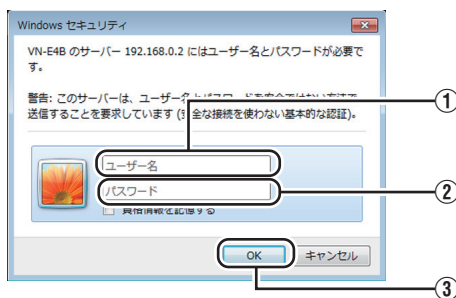
- ① IP アドレス [http://192.168.0.2] (例：工場出荷時) を入力します。
- ② [→] をクリックします。



ご注意：

- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行ってください。
- 統合ビューワを経由しないで [基本設定] ページを開く場合は Internet Explorer のアドレス欄に以下の URL を入力します。
http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi
- [セキュリティ警告] 画面が表示されたら [OK] ボタンを押し、先に進んでください。

2 ユーザー名、パスワードを入力する (“admin” でログインします)



- ① ユーザー名を入力します。
(工場出荷は “admin”)
- ② パスワードを入力します。
(工場出荷は “jvc”)
- ③ [OK] をクリックします。

メモ：

- [セキュリティ情報] 画面が表示されたら、[はい] ボタンを押して先へ進んでください。

3 統合ビューワのインストール

- Internet Explorer で最初に統合ビューワを表示しようとする、統合ビューワのプラグインソフトウェアが本機からダウンロードされて、パソコンにインストールされます。
統合ビューワ (VN-E4B.cab アドオン) のインストール画面が表示されたら、画面に従ってインストールしてください。
- インストールが終了すると、カメラの映像が表示されます。



VN-E4B の IP アドレスがわからない場合

VN-E4B の IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスして設定・変更することができません。IP アドレスを知る手段としては、以下があります。

- 付属 CD-ROM 内の [TOOL] フォルダにある “JVC-VN- 検索ツール” を使用して、LAN 内の VN-E4B を検索することができます。

※ [JVC-VN- 検索ツール] の詳細については、[TOOL] フォルダにある Readme ファイルをご覧ください。

メモ：

- 同一 LAN 環境下で、同じ IP アドレスが存在すると、正しくアクセスできなくなります。付属 CD-ROM 内の [TOOL] フォルダにある “JVC-VN-IP 設定ツール” などを利用して、VN-E4B の IP アドレスを設定しなおしてください。

※ [JVC-VN-IP 設定ツール] の詳細については、[TOOL] フォルダにある Readme ファイルをご覧ください。

メモ：

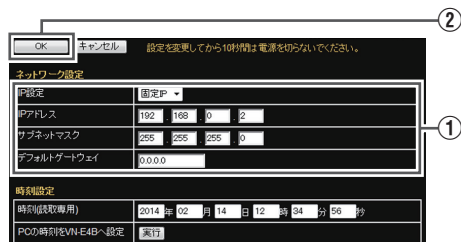
- 統合ビューワーがパソコン上で動作するために必要な設定は Cookie に保存されます。
- Cookie に保存される設定は、表示対象として選んでいるエンコーダの番号や表示サイズが等倍可変などの統合ビューワーの動作に関わる設定であり、VN-E4B 本体の動作に関わる設定は Cookie に保存されません。

VN-E4B の IP アドレスを設定

1 統合ビューワーの[詳細設定]をクリックする



2 [基本設定] ページが表示される



① [ネットワーク設定] 項目を設定します。

- “固定 IP” に設定する場合：
[IP 設定] 項目を“固定 IP”にし、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]の欄に設定したい値を入力してください。
- “DHCP” に設定する場合：
工場出荷時は“固定 IP”（DHCP クライアント機能がオフ）になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、VN-E4B の [IP 設定] 項目を“DHCP”に設定し、[OK] ボタンをクリックしてください。

メモ：

- VN-E4B に割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

ご注意：

- DHCP サーバーから VN-E4B の MAC アドレスへ割り当てる IP アドレスが、毎回同じになるよう DHCP サーバーの設定を行ってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。

② [OK] をクリックします。

- “固定 IP” の場合、新しい IP アドレスに自動的に接続します。
- “DHCP” の場合、本機は新しい IP アドレスで再起動します。
再起動には約 1 分かかります。再起動後に新しい IP アドレスで接続し直してください。

ご注意：

- ネットワークの設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer のアドレスバーに下記の URL を入力すると、統合ビューワーを経由しないで [基本設定] ページを開くことができます。
<http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi>
- [セキュリティ警告] 画面が表示されたら [OK] ボタンを押し、先に進んでください。

メモ：

- VN-E4B の IP アドレスが変更されると、同じパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンから VN-E4B へアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。

開いた画面の表示や構成がおかしい場合
以下の手順でパソコンの設定を確認してください。

- ① [スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップのカスタマイズ] を開きます。
- ② [ディスプレイ] の [画面の解像度の調整] を開きます。
- ③ 解像度が使用している [モニタサイズ (推奨)] になっているか確認します。
- ④ 他の設定になっていた場合、[モニタサイズ (推奨)] に設定を変更し、[OK] ボタンを押します。
- ⑤ [ディスプレイ設定] で [変更を維持する] ボタンを押します。

こんなときは

症状	原因と対応
電源を入れたが、[STATUS] ランプが点灯せず点滅する	VN-E4B の起動中は [STATUS] ランプが点滅して、起動が正常に完了すると点灯に変わります。 リアパネルの [VIDEO INPUT 1CH -4CH] 端子より映像信号が入力されていない場合は早い点滅になりますので、[VIDEO INPUT 1CH -4CH] 端子に映像信号を入力してください。
VN-E4B の IP アドレスがわからない	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時であれば 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。 [IP 設定] が “DHCP” に設定されており、DHCP サーバーが存在しない場合は、工場出荷時の IP アドレスになります。 同一 LAN 内に設定されているパソコンからであれば、JVC-VN- 検索ツール（付属 CD-ROM の [TOOL] フォルダ内）を使って検索できます。
VN-E4B の Web ページを開覧できない	『Internet Explorer の設定』（☞12 ページ）を確認してください。また、プロキシサーバーを使用する場合には、Internet Explorer のプロキシサーバーの設定を行なってください。
統合ビューワーをインストールできない	『Internet Explorer の設定』（☞12 ページ）を確認してください。パソコンにアンチウィルスソフトをインストールしている場合、アンチウィルスソフトがインストールさせないことがあります。その場合はアンチウィルスソフトをインストールしていないパソコンに統合ビューワーをインストールしてください。
統合ビューワーをインストールする際に、VeriSign 社による認証が表示される。	統合ビューワーには VeriSign 社の電子署名が行われています。パソコンが Web に接続されているネットワーク環境では、VeriSign 社の認証によって統合ビューワーの真正性を確認できるようになっています。
統合ビューワーを起動すると警告メッセージが出る	パソコンにアンチウィルスソフトをインストールしている場合、アンチウィルスソフトが警告を出すことがあります。警告を出したくない場合は、アンチウィルスソフトをインストールしていないパソコンに統合ビューワーをインストールしてください。
TCP の映像や音声は再生されない	VN-E4B が TCP 送信できる映像および音声の最大本数は 20 です。例えば統合ビューワーで 4 本の JPEG と 1 本の音声を TCP で取得する場合、1 台の VN-E4B へ接続できる統合ビューワーは最大で 4 個となります。それ以上の箇所でモニターしたい場合は、マルチキャストを利用してください。VN-E4B は最大で 10 本のマルチキャスト送信が可能です。
マルチキャストの映像や音声は再生されない	<ul style="list-style-type: none"> VN-E4B の [マルチキャスト] ページから手動でマルチキャストを送信開始してください。 統合ビューワーでマルチキャスト受信する場合、VN-E4B の [マルチキャスト] ページと統合ビューワーの設定が一致しているか確認してください。またマルチキャストは IGMP に対応したネットワークでご利用ください。 ネットワークインターフェースが 2 つ以上接続されている場合、マルチキャストが正しく表示されないことがあります。その場合、VN-E4B が接続されていない方のネットワークインターフェースを無効にしてください。

症状	原因と対応
映像のフレームレートが低い	VN-E4B 本体のエンコードページで設定を確認してください。統合ビューワーを用いている場合は、統合ビューワーの設定を確認してください。 ネットワークの帯域が狭い場合には、フレームレートが制約されます。ネットワークの遅延時間が長い場合や、VN-E4B からの送信データ量が多い場合にもフレームレートが制約されます。
音声にノイズが発生する	ネットワークの帯域が狭い場合やジッターが多い場合には、スムーズな伝送が阻害されます。伝送量を減らすことで改善される可能性があります。取得する映像のチャンネル数、フレームレート、フレームサイズを小さくすると、伝送量は減少します。
統合ビューワーに白い領域が現れる	一部のパソコンでは、Internet Explorer の下記設定を行うと、Internet Explorer の中の一部の領域が描画されず白く残ります。このような場合は、下記の設定を行うと正常な描画に戻ります。 ● [スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップのカスタマイズ]-[コントロールパネル]-[テキストやその他の項目の項目の大きさの変更] で“100%（規定）”を選択してください。
統合ビューワーが青い画面になる	[VIDEO INPUT 1CH -4CH] 端子の接続を確認してください。 VN-E4B は、入力映像がない場合、画面をブルーバックで表示します。その場合、[STATUS] ランプが点滅します。
省電力モードからの復帰で映像が表示されない	統合ビューワーを起動した状態でパソコン が省電力モードに移行すると、省電力モードから復帰しても映像が表示されない場合があります。その場合は一度、Internet Explorer を起動しなおしてください。
ブラウザの表示レイアウトがおかしくなる	● Internet Explorer の Version6 や Version7 を使用している場合は、Version8 以降にアップデートしてください。 ● Internet Explorer のメニューの[ツール]-[互換表示設定]の[互換表示で追加する WEB サイト]に VN-E4B の IP アドレスを登録すると改善する場合があります。
停電など意図しない電源 OFF があったあと、動作がおかしい	工場出荷状態に戻してください。(P. 7 ページ)
TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない	ファイアーウォールによってマルチキャストがブロックされている場合があります。その場合は下記の操作でブロックを解除できます。 ① [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]を開く ② [Windowsファイアーウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く ③ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する ④ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する ⑤ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する ⑥ [操作]で“接続を許可する”を選択する ⑦ [プロファイル]で適用条件を選択する ⑧ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する
映像保存ファイルがパソコンに保存されない	Windows Vista 以降の OS の場合、Internet Explorer を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。 ① Internet Explorer を右クリックする ② [管理者として実行]を選択する

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので
所定事項の記入および記載内容を確認していた
だき、大切に保管してください。

保証期間について
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が
修理いたします。なお、修理保証以外の補償は
いたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致し
ません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ
販売店にご相談ください。修理によって機能が
維持できる場合はお客様のご要望により有料に
て修理いたします。

サービスについてのお問い合わせ先
修理・保守・設置工事については、お買い上げ
販売店または最寄りのサービス窓口にご相談く
ださい。

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- カスタマーサポートセンター
(045-939-7320)

修理を依頼されるときは
お買い上げ販売店、またはサービス窓口に出
ることをお知らせください。

品名 : ネットワークエンコーダー
型名 : VN-E4B
お買い上げ日 :
故障の状況 : 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所 :
お名前 :
電話番号 :

商品廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例
に従って適切に処理してください。

仕様

■ 基本仕様

項目	内容
電源	AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	8 W
周囲温度	-10 ℃～+50 ℃（動作保証） 0 ℃～+40 ℃（性能保証）
周囲湿度	30% RH～80% RH （結露なきこと）
質量	1.5 kg
適合マウント金 具（別売）	PA-U01、PA-U11
映像	
テレビジョン 方式	NTSC 方式準拠
映像圧縮方式	H.264： Baseline/High profile JPEG：圧縮率 7 段階
画像サイズ	4：3 VGA、QVGA 16：9 640x360、320x180
フレームレート	VGA 120 fps(30 fps x 4ch) 条件：JPEG 24 KB/ 枚、 H.264 4 Mbps 音声非使用、マルチス トリームなし、HTTP (HTTPS は除外)
音声	
音声双方向	対応（エコー/ノイズキャン セラー対応）
音声圧縮方式	μ-Law（G.711 準拠）
音声使用帯域	64 kbps
対応機器	TK-S686B/TK-S686WPB/ TK-S685/TK-S625、 SW-504、SW-2200、 VR-809A/VR-816A、 RM-P2580、SW-D1600B

■ 入出力端子

項目	内容
映像入力端子	BNCx4 VBS 1.0 V(p-p)、75 Ω
音声入力端子	RCAx1 2 Vrms、入力インピーダンス 10 kΩ 以上
音声出力端子	RCAx1 2 Vrms、出力インピーダンス 600 Ω 以下
シリアル I/F	RS-232C/RS-485 切換 SERVICE/CONTROL 切換 D-sub 9Pin(オス) x 1 RS-232C/RS-485 切換 D-sub 9Pin(オス) x 1 RS-232C 最大長：15 m
ネットワーク I/F	RJ-45 x1 10Base-T/100Base-TX Auto Negotiation (LED なし)
LAN 規格	IEEE802.3、IEEE802.3u 準拠
アラーム入力端子	メイク接点 / ブレイク接点 選択可 メイク時：0.32 mA (typ) ブレイク時：3.3 V (typ)
アラーム出力端子	オープンコレクター 許容印加電圧：DC12 V 許容流入電流：50 mA 以下
リセットスイッチ	単押しでリセット、5 秒以上の長押しで工場出荷状態戻し

■ ネットワーク

項目	内容
マルチストリーム	同じカメラ入力に対して、複数エンコード指定可能
プリ・ポスト FTP 録画	プリ録画：0 秒～60 秒 ポスト録画：0 秒～60 秒 JPEG 静止画
動き検出	対応 ブロック 15x15/15x11
異音検出	対応 検出レベル 11 段階
マルチキャスト配信	最大 10 グループまで設定可能
IP フィルター	対応

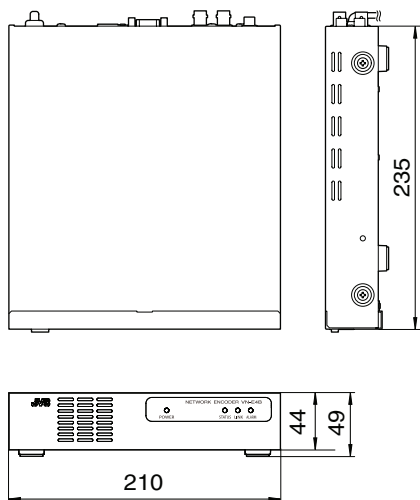
項目	内容
アクセス保護	対応 パスワード 3 段階
対応クライアント	DHCP、SMTP、DDNS、DNS、SNTP、FTP、PPPoE
IPv6	対応
対応プロトコル	TCP/IP、UDP/IP、HTTP、HTTPS、FTP、ICMP、ARP、SNMP

■ 添付物

添付物・付属品	
保証書	1
安全上のご注意	1
取扱説明書（設置 / IP 設定編）	1
CD-ROM	1
連結金具	1
ねじ (M3)	2

■ 外形寸法図

[単位：mm]



※ 本機ならびに接続機器の仕様および外観は改良のため、予告なしに変更することがあります。

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  **0120-2727-87**

携帯電話・PHS  **0570-010-114**

一部のIP電話など **045-450-8950**

FAX **045-450-2308**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12